

男女共同参画・多文化共生に関する市民意識調査票

*** ご協力をお願い ***

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、皆様に男女平等や男女共同参画社会の実現及び多文化共生に関するお考えやご意見をお聞きし、今後の計画の策定・推進の参考とするため、意識調査を実施することになりました。

なお、調査にあたりましては、市内在住の18歳以上の方々1,500人を無作為に選ばせていただき調査票をお送りしています。この調査の結果は、計画推進の目的のみに使用するものであり、他の目的に使用することや内容についてご迷惑をおかけすることは決してありません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和2年6月 湖西市長 影山 剛士

*** 記入にあたってのお願い ***

- 1 この調査は、宛名のご本人が、ご自身のお考えをお答えください。
- 2 宛名のご本人がご病気などで、自分で答えるのが難しい場合は、ご家族またはお世話をなさっている方が記入のお手伝いをしていただいても構いません。
- 3 回答は、令和2年6月1日現在の状況をご記入ください。
- 4 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 5 「その他」を選択した場合は、()内に具体的な内容も記入してください。
- 6 ご記入後は7月8日(水)までに同封の封筒でご投函ください。(切手不要)

問合せ先：湖西市市民安全全部市民課 〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
(TEL) 053-576-1213 (FAX) 053-576-4880

I あなたのことについてお伺いします

問1 あなたの性別をお答えください。(1つを選択)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。(1つを選択)

※6月1日現在の年齢をお選びください。

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 18~24歳 | 2. 25~29歳 | 3. 30~34歳 | 4. 35~39歳 |
| 5. 40~44歳 | 6. 45~49歳 | 7. 50~54歳 | 8. 55~59歳 |
| 9. 60~64歳 | 10. 65~69歳 | 11. 70~74歳 | 12. 75歳以上 |

問3 あなたの家族構成(同居している家族)は次のどれにあてはまりますか。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみの世帯 | 3. 親と子の二世帯 |
| 4. 親・子・孫の三世帯 | 5. 母子世帯 | 6. 父子世帯 |
| 7. その他() | | |

問4 あなたの職業は次のどれにあてはまりますか。(兼業の方は主なものをお選びください。)

(1つを選択)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 会社員、公務員・その他勤め人 | 2. パート・アルバイト・派遣社員 |
| 3. 自営業(農林漁業、商工業等) | 4. 専業主婦(専業主夫も含む) |
| 5. 学生 | 6. 無職 |
| 7. その他() | |

問5 あなたは結婚していますか。(1つを選択)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 結婚している(事実婚を含む) | 2. 結婚していない |
| 3. 結婚していたが、離婚・死別した | |

→ 問5で「1. 結婚している(事実婚を含む)」とお答えの方に伺います。

問6 現在、共働きをしていますか。(1つを選択)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 共働き(共にフルタイム) | 2. 共働き(いずれかがパート・アルバイト) |
| 3. 共働き(共にパート・アルバイト) | 4. 共働きでない |
| 5. どちらも働いていない | |

問7 あなたは高校生以下のお子さんがいらっしゃいますか。(1つを選択)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問8 あなたを含めたご家族の中に介護・介助が必要な方がいらっしゃいますか。(1つを選択)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

II 以下の言葉・考え方についてお伺いします

問9 『男女共同参画』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

問10 『多文化共生』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

問11 『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。

(1つを選択)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

問12 選択的夫婦別氏制度という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

Ⅲ 社会における男女平等についてお伺いします

• 性別役割分担意識とは

「男は仕事、女は家庭・育児」、「男はたくましく積極的、女はやさしく控えめ」、「男が代表、女は補助」というように性別によって固定的に役割を分担する考え方のこと。

• 参画とは

物事を決める場に、ただ席にいて「参加」するだけでなく、決定にいたるまでの相談や議論に主体的に加わっていくこと。

問13 『男は仕事、女は家庭』というような男女の役割を固定的に考えること（性別役割分担意識）について、あなたはどのようにお考えですか。（1つを選択）

1. 同感する 2. どちらともいえない 3. わからない 4. 同感しない

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。

（それぞれ1つを選択）

	男性が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が非常に優遇されている	わからない
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 職場	1	2	3	4	5	6
③ 就職	1	2	3	4	5	6
④ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
⑤ 地域（自治会・PTA等）	1	2	3	4	5	6
⑥ 政治の場	1	2	3	4	5	6
⑦ 法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会通念や慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6
⑨ ドラマ・漫画・文化	1	2	3	4	5	6
⑩ 社会全体	1	2	3	4	5	6

問15 男女平等社会を実現するために大切だと思うことはどのようなことですか。

（あてはまるもの全て選択可）

1. 性差別につながる法律や制度の見直し
2. 性別に関する偏見や社会通念、慣習がなくなること
3. 女性が社会進出すること
4. 一定の割合で女性を重要な役職に登用する制度を充実すること
5. 育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得しやすい社会づくりを進めること
6. 子育てや介護、地域活動に男性が参画すること
7. 学校や生涯教育の場で男女平等教育を推進すること
8. 男女平等に関する普及啓発を充実すること
9. その他（具体的に： _____）
10. 特にない

問16 男女平等社会の実現を図るために、今後、行政はどのようなことに力を入れるとよいと思いますか。(あてはまるもの全て選択可)

1. 学校教育における男女平等教育の充実
2. 男女平等について学べる機会の充実
3. 男女平等に関する情報提供やイベントの充実
4. 女性が参加しやすい職業教育・訓練の機会の充実
5. 企業等に対する男女共同参画についての働きかけ
6. 行政の政策決定や審議会への女性の積極的な登用
7. 男性の家事や育児への参画を促進するための教育・支援の充実
8. その他(具体的に: _____)
9. 特にない

IV 家庭生活における役割分担についてお伺いします

問17 以下のA、Bのような考え方について、あなたの意見はどちらに近いですか。

(それぞれ1つを選択)

① 家計

A: 家計を支える(生活費を稼ぐ)のは男性の役割である

B: 家計を支える(生活費を稼ぐ)のは女性の役割である

1. Aに近い
2. どちらかといえばAに近い
3. AとB両方である
4. どちらかといえばBに近い
5. Bに近い

② 家事

A: 家事をするのは男性の役割である

B: 家事をするのは女性の役割である

1. Aに近い
2. どちらかといえばAに近い
3. AとB両方である
4. どちらかといえばBに近い
5. Bに近い

③ 育児

A: 育児をするのは男性の役割である

B: 育児をするのは女性の役割である

1. Aに近い
2. どちらかといえばAに近い
3. AとB両方である
4. どちらかといえばBに近い
5. Bに近い

④ 介護

A: 介護をするのは男性の役割である

B: 介護をするのは女性の役割である

1. Aに近い
2. どちらかといえばAに近い
3. AとB両方である
4. どちらかといえばBに近い
5. Bに近い

V 職業や労働についてお伺いします

問18 あなたは、「女性と職業」についてどのようにお考えですか。（1つを選択）

1. 女性は職業をもたないほうがよい
2. 結婚するまで職業をもつほうがよい
3. 子どもができるまで職業をもつほうがよい
4. 出産・育児期間は仕事をやめ、成長したら再び職業をもつほうがよい
5. 定年（生涯）職業をもち続けるほうがよい
6. その他（具体的に： _____）
7. わからない

▶ <問18で「2. ～5.」とお答えの方に伺います。>

問19 女性が働く上での障害は何だと思えますか。（あてはまるもの全て選択可）

1. 結婚・出産退職等の慣行
2. 賃金の男女格差
3. 昇進・昇格における男女の格差
4. 仕事内容における男女の格差
5. 長時間労働や残業
6. 雇用形態にパートタイムや臨時雇いが多いこと
7. 育児休業・休暇が取得しにくいこと
8. 育児施設の不足
9. 介護休業・休暇が取得しにくいこと
10. 介護施設の不足
11. 職場における人間関係
12. 家族に反対されたり、協力が得られないこと
13. 女性自身の知識や技術の不足
14. 女性自身の就業意識が低いこと
15. その他（具体的に： _____）
16. 特にない
17. わからない

問20 育児や介護を行うために、育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得できる制度があります。この制度を活用して男性が育児休業・休暇や介護休業・休暇を取ることに、あなたはどうお考えになりますか。（それぞれ1つを選択）

	積極的に取った方がよい	どちらかといえば取った方がよい	どちらかといえば取らない方がよい	取らない方がよい	わからない
①育児休業・休暇	1	2	3	4	5
②介護休業・休暇	1	2	3	4	5

問21 現在お勤めの方だけに伺います。あなたの職場では、男性の育児休業・休暇や介護休業・休暇が取得しやすい環境（又は雰囲気）にありますか。（それぞれ1つを選択）

	取得しやすい	やや取得しやすい	やや取得しにくい	取得しにくい	わからない
①育児休業・休暇	1	2	3	4	5
②介護休業・休暇	1	2	3	4	5

Ⅵ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についてお伺いします

・ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは

やりがいのある仕事と充実した生活（子育てや家庭生活だけでなく、地域活動や趣味・学習などあらゆる活動が含まれる。）を両立させながら、個人の能力を最大限発揮できるように支援する考え方や施策のこと。

仕事優先から仕事と生活のバランスがとれた働き方や生き方への展開が求められるようになってきている。

問22 あなたはワーク・ライフ・バランスという言葉をご存じですか。（1つを選択）

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉を聞いたことはあるが、内容までは知らない
3. 言葉も内容も知らない

問23 あなたの仕事と家庭生活（プライベート）について、理想と現実をお答えください。

（それぞれ1つを選択）

①理想

1. 仕事を優先したい
2. どちらかといえば仕事を優先したい
3. 仕事も家庭生活（プライベート）の両方のバランスをとりたい
4. どちらかといえば家庭生活（プライベート）を優先したい
5. 家庭生活（プライベート）を優先したい

②現実

1. 仕事を優先している
2. どちらかといえば仕事を優先している
3. 仕事も家庭生活（プライベート）の両方のバランスをとっている
4. どちらかといえば家庭生活（プライベート）を優先している
5. 家庭生活（プライベート）を優先している

Ⅶ セクシュアル・ハラスメントについてお伺いします

・セクシュアル・ハラスメントとは

職場・学校・地域活動等において、本人の意に反した攻撃的で屈辱的な性的言動や勧誘により、仕事などをしていくうえで、一定の不利益を受けたり、環境が悪化したりすること。

問24 あなたは、これまでに、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ・性的嫌がらせ）について経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。（あてはまるもの全て選択可）

1. セクハラを受けたことがある
2. 身近にセクハラを受けた人がいる
3. セクハラを受けた人から相談されたことがある
4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある
5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている
6. 経験したり見聞きしたことはない
7. その他（具体的に： _____）

→<問24で「1. セクハラを受けたことがある」と答えた方におたずねします。>

問25 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。（あてはまるもの全て選択可）

1. セクハラを行った相手に抗議した
2. 家族や身近な人、友人に相談した
3. 公的な相談機関に相談した
4. 警察等に相談した
5. 仕方がないと思い、何もしなかった
6. 怖くて何もできなかった
7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった
8. その他（具体的に： _____）

次のページに続きます→

VIII ドメスティック・バイオレンス（DV）についてお伺いします

☆立ち入った質問になりますが、この調査は無記名で行っておりますので、回答された方に御迷惑がかかることは一切ありません。調査へのご協力をお願いします。

・ドメスティック・バイオレンス（DV）とは

配偶者や恋人などのパートナーから、殴る、蹴る、物を投げつけるなどの身体的暴力、望まない性行為を強要するなどの性的暴力、ののしる、おどす、無視するなどの精神的暴力、生活費を渡さないなどの経済的暴力を受けること。

問26 これまでに、夫・妻や恋人など親しい間柄にある男女間の暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、経験したり見聞きしたりしたことがありますか。（あてはまるもの全て選択可）

1. 暴力を受けたことがある
2. 身近に暴力を受けた人がいる
3. 暴力を受けた人から相談されたことがある
4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある
5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている
6. 経験したり見聞きしたことはない
7. その他（具体的に： _____）

→<問26で「1. 暴力を受けたことがある」と答えた方に伺います。>

問27 夫・妻や恋人から暴力を受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。

（あてはまるもの全て選択可）

1. 暴力を振るった相手に抗議した
2. 家族や身近な人、友人に相談した
3. 公的な相談機関に相談した
4. 警察等に訴えた
5. 仕方がないと思い、何もできなかった
6. 怖くて何もできなかった
7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった
8. その他（具体的に： _____）

IX 防災・復興についてお伺いします

問28 防災や震災対応に女性が参画するために、どのような施策が必要だと思えますか。

（あてはまるもの全て選択可）

1. 市の防災会議や災害対策本部に女性の委員・職員を増やす
2. 地域防災拠点の運営に女性も参画できるようにする
3. 女性も男性も防災活動や訓練に取り組む
4. 備蓄品について女性の視点を入れる
5. 女性に配慮した避難所マニュアルなどをつくり、女性が安全に過ごせるようにする
6. 防災や災害現場で活動する女性のリーダーを育成する
7. 日ごろからのコミュニケーション・地域でのつながりを大切にする
8. 日ごろからの男女平等、男女共同参画意識を高める
9. 性別や立場によって異なる災害時の備え（生活環境・物資・安全など）について知識を普及する
10. その他（具体的に： _____）
11. わからない

X 性的マイノリティについてお伺いします

問29 あなたは性的マイノリティ（またはLGBT）という言葉を知っていますか。（1つを選択）

- | | |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

問30 現在、性的マイノリティ（またはLGBT）の方々にとって、偏見や差別などにより生活しづらい社会だと思いますか。（1つを選択）

- | |
|-----------------|
| 1. 思う |
| 2. どちらかといえば思う |
| 3. どちらかといえば思わない |
| 4. 思わない |
| 5. わからない |

▶<問30で「1. 思う」「2. どちらかといえば思う」と答えた方に伺います。>

問31 性的マイノリティの方々が生活しやすくなるためにどのような施策が必要だと思いますか。

（あてはまるもの全て選択可）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 情報発信を通じた啓発活動の充実 |
| 2. 相談窓口の充実 |
| 3. 小中学校などの学校教員や行政職員への研修の実施 |
| 4. 当事者や支援団体、行政等を交えた連絡、意見交換の実施 |
| 5. 働きやすい職場環境づくりへの働きかけ |
| 6. 交流の場の充実 |
| 7. 理解を深める研修やイベントの開催 |
| 8. その他（具体的に： _____） |
| 9. わからない |

XI その他についてお伺いします

問32 あなたは市政に女性の意見が反映されていると思いますか。（1つを選択）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 十分に反映されている | 2. まあまあ反映されている |
| 3. あまり反映されていない | 4. まったく反映されていない |
| 5. その他（ _____ ） | 6. わからない |

男女共同参画についてご意見等ありましたらご自由にお書きください。

XII 多文化共生にかかわることについてお伺いします

問33 あなたは外国に住んだことがありますか。外国での居住経験のある人は、外国に通算何年住んでいましたか。(1つを選択)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 外国に住んだことはない | 2. 通算1年未満 |
| 3. 通算1年以上5年未満 | 4. 通算5年以上 |

問34 あなたは外国人と以下のような付き合いがありますか。(あてはまるもの全て選択可※過去の経験を含む)

- | |
|--|
| 1. 一緒に働いている(働いていた) |
| 2. 学校で一緒に勉強している、または教えている(勉強していた、教えていた) |
| 3. 友人としてつき合っている(つき合っていた) |
| 4. 自分または親せきが外国人と結婚して日本に住んでいる(住んでいた) |
| 5. 国際交流グループで一緒に活動している(していた) |
| 6. 子どもの通う学校でのPTA活動などを通じて、一緒に活動している(していた) |
| 7. 宗教活動(教会など)を通じて、一緒に活動している(していた) |
| 8. その他のグループや地域活動と一緒に参加している(していた) |
| 9. 外国人とあいさつ程度の付き合いはある(あった) |
| 10. 外国人の知り合いはいないし、付き合いを持ったこともない |

問35 あなたが生活している地域で、外国人と顔を合わせることがよくありますか。(1つを選択)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. よくある | 2. ときどきある |
| 3. あまりない | 4. 全くない |

問36 地域で暮らす外国人についてどの程度親しみを感じますか。(1つを選択)

- | | | |
|-----------------|----------------|--------------|
| 1. 親しみを感じる | 2. どちらかといえば感じる | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば感じない | 5. 親しみを感じない | |

問37 あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。(1つを選択)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 |
| 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 |

→ <賛成の理由>

→ <反対の理由>

問38 あなたは地域や職場において外国人からどのような影響を受けたと感じていますか。

(あてはまるもの全て選択可)

- | |
|--|
| 1. 外国の文化に興味を持つようになった
2. 地域や職場のルールを見直すきっかけになった
3. 外国人と交流したり支援したりする機会が増えた
4. 地域行事の参加者や働き手が増えた
5. 騒音により困ったことがある
6. ゴミ出しルールが守られないことにより困ったことがある
7. その他（具体的に： _____）
8. 影響はない |
|--|

問39 多文化共生に関する次の意見についてあなたはどう思いますか。（それぞれ1つを選択）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①外国人は、日本の言語や文化を身につけるべきだ	1	2	3	4
②外国人は、日本の習慣やルールを学ぶべきだ	1	2	3	4
③外国人は、地域の活動に積極的に参加すべきだ	1	2	3	4
④行政は、外国人が日本の言語や文化を学べるよう援助すべきだ	1	2	3	4
⑤行政は、外国人がかれら自身の言語や文化を守れるよう援助すべきだ	1	2	3	4
⑥日本人は、地域に住む外国人の言語や文化を学ぶべきだ	1	2	3	4

問40 地域で暮らす外国人を支援する際に、困ったことはありますか。（1つを選択）

- | |
|----------------|
| 1. ある
2. ない |
|----------------|

▶<問40で「1. ある」と答えた方に伺います。>

問41 どのような場面でどのようなことに困りましたか。ご自由にお書きください。

_____ _____ _____ _____

問42 地域を外国人とともに暮らしやすい社会にするため、日本人は何をすべきと思いますか。
(あてはまるもの全て選択可)

1. 外国人に対する差別意識をもたないようにする
2. 日本語や日本文化の多様性を日本人が自ら知る努力をする
3. 日本語や日本文化を外国人に学んでもらうようにする
4. 日本で生活するルールを外国人が守るように呼びかける
5. 地域住民との交流や地域の活動に外国人の参加を呼びかける
6. 外国語の言葉や文化を学ぶ

問43 日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために、あなたは行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるもの全て選択可)

1. 行政サービス情報を多言語で表記する
2. 緊急時に防災情報を多言語で放送する
3. 労働相談や生活相談をしやすいように多言語の通訳をつける
4. 医療通訳を充実する
5. 無料の日本語教室を開く
6. 日本人と外国人の交流の場を設ける
7. 生活相談などに対して丁寧に対応する窓口を設ける
8. 公営住宅を充実させる
9. 企業に対して労働規約の遵守などを指導する
10. 職業訓練を受けやすいようにカリキュラムを工夫する
11. 外国人に対して差別がなくなるように外国文化などを理解する機会を設ける

多文化共生についてご意見等ありましたらご自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました市民意識調査票は同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、
7月8日（水）までにご投函くださいますようお願い申し上げます。